

## 1. 総評

**(1) 年度初めの学校の状況 【学校の現状及び前年度の成果と課題】**

## ○学校の現状

通常学級 15 学級、特別支援学級 3 学級、全 18 学級、児童数 490 名である。(31.2.1 現在)  
学校、家庭、地域が三位一体となって協働して児童を育てる風土が醸成されてきた。  
本校の特色である基本的生活習慣、授業規律の確立に向けた学校全体の取組の継承が今後の課題である。  
教職員は真面目に一生懸命教育活動を進め、西伊興小の伝統を継承しようと努力しているが、やや一体感に欠け、学年によって差が大きい。この要因として、今年度職員が異動で大きく代わったことが挙げられる。

## 前年度の成果と課題

- H30 年度区学力調査の目標値に対する学校平均目標通過率は 73.1% (H27 年度 76.7%) であった。  
目標値に達成しなかった 27% の児童も 10 月の再テストでは 92.4% まで向上した。  
授業以外における現在の補習、再指導を充実、改善して継続するとともに家庭学習の徹底を図る。  
都調査、全国 B 問題にも対応できるよう、思考力、判断力、表現力向上を目指した授業改善を進める。
- 漢字・計算は、漢字・計算コンテストの取組により学年・内容に応じて基礎・基本の習得が図れた。  
校内学力テスト、計算コンテストは学年や回により難易度が低いため、問題の一部を見直した。
- 児童の授業アンケート (3 回中 2 回実施時点) 「楽しかった」「よく分かった」と 97% が回答した。  
教員の授業アンケート自己評価「楽しかった」と 87% 「よく分かった」と 52% が回答した。
- 体力調査において昨年度比 5% 向上を目指した 2 種目は上体起こし 5.9% 向上、立ち幅跳び 3.1% 低下した。  
体幹と背筋を鍛える運動、握力と持久力のつく取組を内容、方法、期間を見直してさらなる改善を図る。
- 年間 3 回の生活づくりがんばり表の取組により生活習慣の啓発ができた。早起き、朝ごはん、家庭学習は達成率 90% を超えたが、早寝は達成できなかった。個別の働きかけで調査回収率 98% 未提出者 6 名と向上した。
- 地域人材の活用を通して、地域の伝統や文化、歴史、風土に触れ、地域のよさを知ることができた。  
地域体験は内容と対象学年を見直し、取組を充実させて継続する。
- 思いやり、きまりや規律の遵守は、保護者アンケート、学校関係者評価で肯定的な評価をいただいた。  
あいさつはできない児童が一部に見られる。  
今後も教職員が一体となって教育活動を進め伝統を継承していく。

**(2) 今年度の重点目標とそれに向けた取組の概要****重点的な取組事項－1 学力向上**

基礎・基本の確実な定着、授業改善、「足立スタンダード」の共通理解と徹底。

- ・アフタースクール・学力調査の活用・校内学力テスト、漢字計算コンテスト・基礎基本の時間
- ・研究授業の活用・小小連携・小中連携の活用・「足立スタンダード」・教員自己評価と児童アンケート

**重点的な取組事項－2 体力向上**

体力向上の取組の充実。

- ・体力調査結果区平均以上      ・上体起こし区平均以上、立ち幅跳び区平均以上
- ・長縄 1 学級達成、                  ・持久走旬間校庭周回数 1・2 年 80 周以上 3 年以上 100 周以上
- ・西伊興小スポーツ検定              2 年までに逆上がり 70% 以上、4 年までに短縄二重回し 80% 以上、  
6 年までに水泳 25m90% 以上

**重点的な取組事項－3 家庭・地域との協力**

生活習慣の確立

- ・生活づくりがんばり表の提出率 全児童提出 100%、目標達成率 90% 以上
- ・伝統・文化体験 各学年 3 取組以上のべ 100 人以上

**(3) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性****重点的な取組事項－1 学力向上**

目標値通過率：83.4%

基礎・基本の定着の強化、すべてのテストで目標値達成まで再指導繰り返しを徹底する。  
足立スタンダードに則った授業展開とノート指導を点検、評価して徹底する。

活用力を問う都調査、全国B問題にも対応し、思考力、判断力、表現力を向上する授業展開を追究していく

### 重点的な取組事項－２ 体力の向上

体力調査結果：体力合計ポイントが区平均を下回った。上体起こし 1.2% 下回った。立ち幅跳び 3.4% 下回った。今年度の結果を踏まえ、体幹と背筋を鍛える運動、握力、投擲力のつく取り組みを見直して改善を図る。

### 重点的な取組事項－３ 家庭・地域との協力

生活習慣の確立：生活づくりがんばり表の目標値達成率 第1回 92.6% 第2回 93.3% 第3回 94.1% と向上した。提出率第1回 99.8%、第2回 99.8% 第3回 99.6% と向上した。471名のうち取組可能な児童全員が提出した。伝統・文化体験各学年3取組以上実施、家庭への生活習慣の啓発ができた。地域体験は内容と対象学年を見直し、取組を充実させて継続する。

## (4) 保護者や地域へのメッセージ

皆様のご理解とご協力のおかげで、今年度もよい教育活動ができました。本校の多くの子供たちは、あいさつがしっかりでき、話をよく聞くことができ、丁寧な言葉遣いができる、礼儀正しいよい子に育っています。来年度も「チーム西伊興」として「かんがえる子、やさしい子、げんきな子」を教育目標に、学力向上、体力向上、地域や人とかかわり豊かな心を育む教育を進めてまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

## 2. 平成30年度の重点的な取組事項

＜達成度 ◎：十分に達成 ○：おおむね達成 △：達成せず ●：課題が残る＞

### 重点的な取組事項－１ 学力向上

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
学力向上	区学力調査 通過率 82%	80.6%	前年度よりも 2.8 ポイント下降したが平均正答率は上昇している。	△

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
別紙「平成30年度学力向上アクションプラン」評価シート参照					

### 重点的な取組事項－２ 体力向上

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体力向上の取組を通して、握力や投擲力を高め、体幹、背筋を鍛える。	区平均値を上回る	体力合計点 28.0	8項目中6項目で区平均値を下回った。	△

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体力調査結果を区平均以上にする。	○上体起こし区平均以上 ○握力区平均以上 ○ソフトボール投げ区平均以上	○指導方法測定方法の教員研修を実施。 ○プレ体力調査の重点取組を実施。 ○体力向上のための運動の日常化。 自主運動遊びができる環境整備。	体力合計点 28.0	8項目中6項目で区平均値を下回った。	△
縄跳び、持久走の全校実施	○長縄…区の目標1学級達	○重点指導月間の取組を充実。	全校実施できた	今後旬間期間を延長しさら	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
	成 ○持久走週間 【校庭周回数】 1・2年生 80 周以上 3年生以上 100 周以上	○体育の授業、体育朝会での重点指導。 ○休み時間や家庭での主体的な取組への児童の意識付けと保護者への啓発。 ○達成者、達成学級を表彰。		なる体力向上に努める	
体育授業の充実・改善	○卒業までに水泳 25 m 90% ○体力調査翌年までに前年度比 3%以上上昇	○全学年学級の体育授業を観察・指導。 ○当該学年の未達成者を重点指導。 ○授業技術、怪我防止の教員研修を実施。	卒業生 60 名中 7 名が泳げなかった。達成率 89%		

### 重点的な取組事項－３ 家庭・地域との協力

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
○各取組について積極的に情報発信し地域・保護者の協力を得る。	保護者、学校関係者評価で、思いやり、規律、生活習慣の項目で肯定的評価 85%以上	肯定的評価 86%	特に子供が明るく楽しく学校に通っているという点が 4 ポイント上昇した。	◎

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
早寝・早起き・朝ごはん・家庭学習の生活習慣を確立する。	生活づくりが んばり表 全児童提出率 100% 目標達成率 90%以上	○年 3 回、生活づくりが んばり表の取組を実施。質の向上と重点課題の克服。 ○集計評価を公表して保護者に啓発。	提出率 97% 目標達成率 89%	全児童の提出を目指したが達成できなかった。	○
我が国や地域の伝統・文化を体験し、地域への愛着を育む。	各学年 3 取組以上 地域人材活用 のべ 100 人	○外部指導者から教わる特別授業、地域に出かけて実地体験させていただく校外学習を年間計画に基づき実施。 ○もちつき、落語等、日本の伝統文化体験実施。 ○異文化体験、国際理解教育を年間計画に基づき実施。 ○取組後のお礼状指導、感謝の会、開かれ委員との交流、地域行事への参加。	地域人材の活用はのべ 70 名だった。各学年の取組平均 2.8 取組	概ね達成できたと考えている	○

### 3. 学校活動全般について

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>○オリンピック・パラリンピック教育として4年生対象の「ミズノヘキサスロン教室」を開催しました。専門コーチから走り方、投げ方の基本の指導を受けました。</li><li>○学校公開や授業参観に多くの方に来校いただき、保護者アンケートや授業診断で感想やご意見を。児童、教職員にも大変励みになりました。</li><li>○あいさつ、態度、話のきき方、言葉づかい等、高学年は意識して取り組んでいる児童が多く、ほめられることも多いのですが、低学年はなかなかあいさつができない児童もいますので、引き続き自分からあいさつの言葉が出せるように指導していきます。</li><li>○地域の皆様、学校関係者の皆様のご協力により、交流、体験、訪問、校外学習、特別授業等、学校だけではできない体験をたくさんさせていただきました。</li><li>○ブラスバンド演奏、地域清掃ボランティアにより地域に貢献する機会をいただきました。東京都ブラスバンドコンテストでは銀賞をいただきました。</li><li>○スマイル班活動、登校班では上級生の下級生への責任感、思いやりを育むことができました。</li><li>○運動会、持久走大会、もちつき体験などの行事に多大なるご協力をいただき、成功させることができました。がんばる児童の姿をご覧いただきました。</li><li>○いじめ相談ポスト、いじめアンケート、児童会からの呼びかけなど、いじめの起きにくい学校づくりを進めてきました。今後もいじめのない学校を目指します。</li><li>○6年生の連合運動会、男子サッカー大会予選、女子サッカー大会予選、あだちこども百人一首大会、将棋大会に向けた特別練習ができました。</li><li>○第十四地区少年団体から善行少年の表彰をブラスバンド部、地域清掃ボランティアの活動が認められて表彰されました。足立区からは給食メニューコンクール、税の絵葉書コンクール、交通安全ポスターコンクール、明るい選挙ポスターコンクールで優秀な成績を収めました。足立区児童生徒褒賞としてスポーツ等で活躍した児童を表彰されました。</li></ul> |  |
|---|--|

## 「平成30年度 学力向上アクションプラン」評価シート

足立区立西伊興小学校 学校長 中郡 英一

		アクションプラン	達成目標(=数値) ＜いつまで・何を・どの程度＞	具体的な取り組み内容 ＜誰が、何を、どのように＞	実施結果	コメント・課題	達成度 (◎○△●)
1	継続	基礎・基本 の時間	校内学力テスト平均 85%達成	【指導者体制】 担任・専科 【取組のねらい・目的】 区学力テストと同等レベルの問題の復習・補習 【使用教材】 プリント教材	平均75%	実施後の解説や習熟が十分でない ため、成果があがっていない。	△
2	継続	アフタース クール	校内学力テスト平均 85%達成	【指導者体制】 担任・専科 【取組のねらい・目的】 前学年までの学習内容にさかのぼり 少人数指導 【使用教材】 個別の課題に応じたプリント教材	平均75%	実施後の解説や習熟が十分でない ため、成果があがっていない。	△
3	継続	漢字・漢字 コンテスト	漢字コンテストで満点の 児童に賞状授与 平均85%達成	【指導者体制】 担任 【取組のねらい・目的】 漢字を正しく書けるようにするため、100点満点 をとらせるよう繰り返し指導する 【使用教材】 プリント教材・ドリル教材	平均80% 満点の児童 は全体の70%	習熟しているがなかなか成果があ がらないのが実情である。	△
4	継続	計算・計算 コンテスト	計算コンテストで満点の 児童に賞状授与 平均85%達成	【指導者体制】 担任・習熟度別指導担当 【取組のねらい・目的】 早く正確に計算できるようにするため、100点満 点をとらせるよう繰り返し指導する。 【使用教材】 プリント教材・東京ベーシックドリル	平均85% 満点の児童 は全体の60%	今後算数のテコ入れが必要である と感じている。繰り返しの指導がさ らに充実させるようにする。	△
5	継続	サマースク ール	夏休み終了後確認テスト で全員の正答率の10%ア ップ	【指導者体制】 担任・専科サポートメンバー 【取組のねらい・目的】 基礎・基本の定着を図る。 【使用教材】 プリント教材	平均7%ア ップ	夏季休業中に集中して実施し、一定 の成果があるものの明けてから行 うとどうしても忘れていることが 多く見られる。	△
6	継続	ノート表彰	ノートの書き方がよい児 童に賞状授与	【取組のねらい・目的】 考える力、書く力、まとめる力をつけさせるため、 ノートの書き方指導をする。	全体の50%	文字を丁寧に書かせる指導が学級 によって差異があり、なかなか定着 しない。	△

